

鳥羽市地域公共交通会議 会議録

会議の名称	令和7年度第3回鳥羽市地域公共交通会議全体会
開催日時	令和7年12月26日(金) 15:00~16:30
開催場所	鳥羽市役所西庁舎 4階 大会議室
議題	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 新委員の紹介</p> <p>3. 議題</p> <p>【報告事項】</p> <p>報告第1号 鳥羽市定期航路ダイヤ改正について</p> <p>報告第2号 鳥羽駅周辺及び佐田浜周辺における案内サイン改修について</p> <p>【協議・承認事項】</p> <p>議案第1号 地域公共交通確保維持改善等の評価について</p> <p>4. その他</p>
会議資料	<p>事項書・席次表・委員名簿</p> <p>【報告第1号 資料1】定期船ダイヤ新旧比較表</p> <p>【報告第1号 資料2】今後のスケジュール</p> <p>【報告第2号】鳥羽駅周辺及び佐田浜周辺における案内サイン改修について</p> <p>【議案第1号】地域公共交通確保維持改善等の評価について</p> <p>【別添資料1】地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）</p> <p>【別添資料1-2】事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	6人
出席委員	大野会長、加藤委員、藤原委員、西田委員、濱崎委員、橋本委員、森委員、小磯委員、荒木氏（代理出席）、今井委員、酒徳氏（代理出席）、中村委員、山口氏（代理出席）、山本委員（伊勢湾フェリー株式会社）、矢野委員、木下委員、清水委員、西川委員、山本委員（答志和具町内会）、小寺委員、楠田委員、山本委員（鳥羽市教育委員会）、奥村委員（鳥羽市健康福祉課）、高浪委員（鳥羽市観光商工課） 24名
オブザーバー	なし
欠席委員	小崎委員、世古委員、奥村委員（鳥羽市老人クラブ）、中西委員、山下委員、井上委員、天野委員、福田委員（鳥羽市定期船課） 8名
事務局	企画財政課 齋藤副参事 浜崎課長補佐 木下 小久保 定期船課 村山課長 西根課長補佐

1. あいさつ

○事務局長

- ・開会
- ・配布資料の確認
- ・出席報告

○会長挨拶

皆さま、年の瀬のご多忙の中、本会議にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、委員の皆様におかれましては、先ほど開催いたしました定期航路幹事会に引き続きご参加いただいている方もおみえになる中、本会議にもご出席を賜り、重ねて御礼申し上げます。

さて、本日の主な議題としては、2つの報告事項と1つの協議・承認事項がございます。協議・承認事項につきましては、今後の地域公共交通のあり方を検討し、住民の皆様の生活に支障が生じないように、現実的で持続可能な運航体制を確保する観点から公共交通の事業評価の審議をお願いするものでございます。

市民の移動手段を守り、地域経済を支える交通を作り上げ、守っていくには、皆様方のご協力が欠かせません。

本日の議論が、地域の実情やニーズに即した公共交通の構築につながることを期待しておりますので、委員の皆様におかれましては、どうぞ、ご忌憚のない意見をいただきますようお願い申し上げます。

本日は、よろしく願いいたします。

2. 新委員の紹介

○新委員の紹介

3. 議事

(報告事項)

(1) 鳥羽市定期航路ダイヤ改正について

○ 事務局説明

報告第1号により鳥羽市定期航路ダイヤ改正について説明。

○ 委員からの質問等

- ・加藤委員（名古屋大学）

確認ですが、減船して4隻体制になることで全船バリアフリー対応になるのでしょうか。

- ・事務局

4隻はすべてバリアフリー対応となるが、予備船とチャーター船につきましては現状対応ができていない状況です。

- ・山本委員（答志和具町内会）

南海トラフ地震が危惧される中、夜間に発災した場合の体制はどうなっているのか。個人所有の船なら逃がすことも考えるが、市としてはどう指示しているのでしょうか。

- ・事務局

運航中であれば近くの港へ接岸し高台避難。夜間については、船には近づかず各自の安全確保を最優先にするよう指示しております。

- ・森委員（中部運輸局）

今回のダイヤ改正は市民利用が主だと思うが、観光客など市外利用者への周知はどう考えているか。

- ・事務局

利用者の8～9割は離島住民だが、HP等のコンテンツを使い市外利用者へも周知を徹底していく。

(2) 鳥羽駅周辺及び佐田浜周辺における案内サイン改修について

○ 事務局説明

報告第2号により鳥羽駅周辺及び佐田浜周辺における案内サイン改修について説明。

○ 委員からの質問等

- ・加藤委員（名古屋大学）

床面サインの見送りは妥当だが、距離表示（何メートル先か）は必ず入れるべきです。また、「佐田浜」という名称は市民の通称であり、公的な案内で使うと観光客が混乱する。公式名称である「マリナーミナル」に表記を統一すべきではないかと考えます。

- ・事務局

距離はウォーキングメジャーで実測しており、10メートル単位で表示します。看板もサインからは「佐田浜」を除き、目的地表記を統一していく。

- ・木下委員（鳥羽市観光協会）

エレベーターのサインについて、予算が余ればエレベーターの入り口の裏側に付けるということですが、入口が見えない場所にこそ看板が必要だと思います。優先順位が逆ではないでしょうか。

- ・事務局

当初の計画に則っていたが、業者と調整し、視認性を優先した配置（裏側への設置含め）を再検討する。

- ・高浪委員（鳥羽市観光商工課）

バスセンター以外に、水族館やマルシェへの施設誘導はあえて入れていないのか。

- ・事務局

現状の素案にはないが、既存の観光サインと繋がるよう表記を調整したいと思います。

（協議・承認事項）

（1）議案第1号 地域公共交通確保維持改善等の評価について

- 事務局説明

議案第1号に地域公共交通確保維持改善等の評価について説明。

- 委員からの質問等

- ・森委員（中部運輸局）

資料3ページ、路線短縮をすれば「学生や通勤の要望に応えられる」とありますが、具体的にどう調整しやすくなるのでしょうか。

- ・事務局

距離を短くし車両を動かしやすくすることで、他路線のダイヤ調整も行いやすくなるという意味でございます。

- ・木下委員（鳥羽市観光協会）

浦村地区のバスの路線について、以前から要望しているが、カキ食べ放題の時間のバスが増えていないため、今回の再編で1本増やしていただきたいです。

- ・事務局

現在は検討段階であり、できる限りご要望に合わせていきたいと考えています。

- ・加藤委員（名古屋大学）

3ページの資料だが、背景にある「カキ客の要望」と、検討内容の「距離短縮」が全く繋がっていないです。また「路線再編」が具体的取り組みとして書かれている表現に問題があります。

- ・事務局

地区の要望に基づき記載しましたが、論理性を欠いていたため、修正します。

- ・加藤委員（名古屋大学）

4ページ、DMOが検討している「直行バス運賃の無料化」について、既存の有料バスがある区間に無料バスを走らせるということはいかがなものかと思えます。この内容を中部運輸局への報告資料に掲載する必要はないと思えます。

- ・事務局

ご指摘の通り、住民の協力による純増であるため、評価を書き直します。

- ・加藤委員（名古屋大学）

中学生への「乗り方教室」が数年越しで未実施であるが、統合でバス通学が必要になる今、市が主導して説明会を行う必要があると思えます。

- ・事務局

ご指摘のとおり、中学生に限らず、翌年から中学生になる小学生に向けても実施をしていきたいと思えます。

- 採決

採決は行わず、委員の皆さまからいただいたご指摘をもとに修正案を作成し、後日書面決議とする。

4. その他

- ・事務局

現在策定中の「次期公共交通計画」について。アンケートや関連計画との整合を図りつつ事務局で素案を作成している。年明けからバス・鉄道・タクシー等の交通事業者の皆様へ直接ヒアリングをさせていただき予定なので、ご協力をお願いします。

- ・加藤委員（名古屋大学）
今後のスケジュールリングはどうなっているのでしょうか。
- ・事務局
ヒアリング後、素案を取りまとめ、令和8年2月下旬の交通会議に諮る。その後パブリックコメントを経て、令和8年5月の交通会議で最終承認をいただく流れで進めております。
- ・加藤委員（名古屋大学）
今回の「評価（PDCA）」で出た議論を、どう次期計画に活かすのか。議論したことが計画に反映されないのはもったいない。評価した結果、何が重要になったかをしっかり繋げるスケジュールを考えていただきたいです。
- ・事務局
本日いただいたご意見も含め、議論の内容を可視化した見解表を作成し、計画に反映できるようお示ししたいと思います。
- ・小寺委員（菅島町内会）
報告2号に関連して。マリンパークへの道中、横断歩道のスロープ部分が水たまりになりやすく、滑りやすいため、サインも大事だが、道路自体の修繕も担当部署に伝えていただきたい。
- ・事務局
道路担当部署に伝え、改善を検討する。
- ・濱崎委員（民生委員）
待合所の環境改善についても、今回の評価項目（停留所の移転）に関連させてしっかりと記録・報告すべきです。
- ・事務局
改善点としてしっかり記載します。

5. 閉会